2026年度　東京音楽大学・神戸女学院大学共通科目
第8回ミュージック・コミュニケーション講座

現代に生きる古典演劇「能」役者としての視点から



能楽は今から約六五〇年前に大成し、現代に至るまで一度も途切れることなく続いてきた伝統的な日本にしか存在しない舞台芸術です。能の多くの物語は、人間の生老病死、つまり人間の一生、生きることの根源が描かれています。古今東西、人間であれば誰しもが共感する普遍的なテーマが根底にあります。この講座では、能の実演者から実際に能の技法を学び、また女性としての講師自らの「能と現在」をみなさんと共有する時間にできればと思います。

能楽師　鵜澤（うざわ）　光（ひかる）

1979年生まれ。1982年に仕舞「老松」で初舞台。1992年に能「猩々」で初シテ。
東京芸術大学邦楽科能楽専攻卒業。祖父　故鵜澤雅、母　鵜澤久、九世観世銕之丞に師事。
独立後「石橋」「乱」「道成寺」他多くの舞台を務める。
2015年11月に中国南京にて催された「朱鷺芸術祭」に於いて佐藤信氏演出の「駅」に出演。
中国の伝統演劇である昆劇の役者と共演した。2016年12月から2017年1月にかけてはJCDNのレジデンスクリエーションに参加。川口智子氏演出の「戀歌鳥」に出演した。
2017年2月にはトーキョーワンダーサイトのプロジェクトに参加。Cheuk　Cheung氏演出の「彼と私」に出演。2018年4月には香港にてSteve　Nerve氏、Cheuk　Cheung氏演出の「肖像曲」に出演。
2025年3月には洗足学園音楽大学100周年記念事業の一環として、
シルバーマウンテンホールにてクラシックギタリストの井上仁一郎氏、山崎拓郎氏と共演した。
2015年より洗足学園音楽大学非常勤講師、2017年より立教大学非常勤講師。
演能団体銕仙会所属。能楽協会会員。日本能楽会会員。重要無形文化財「能楽」総合認定。

11/20（金）
15:50～17:10
合奏室にて

【問い合わせ・聴講申し込み】
神戸女学院大学連携ルーム（火，水，金 10:00-15:00）
0798-51-8588　https://www.kobe-c.ac.jp
https://www.kobe-c.ac.jp/musicdp/renkei/